

Minami Kyushu University Syllabus

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|-----|---------|------|--------|---------|----------------|-----------|--|
| シラバス年度 | 2024年度 | 開講キャンパス | | 都城キャンパス | 開設学科 | | 子ども教育学科 | | | |
| 科目名称 | 子ども教育専門ゼミ I | | | | | 授業形態 | 演習 | | | |
| 科目コード | 750114 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 3 | 実務経験教員 | ○ | アクティブ ラーニング | ○ | |
| 担当教員名 | 河野 康男 | | | | | | | | ICT活 用 | |
| 授業概要 | <p>ここでは、算数科の学習内容について、子どもの目線から学びをとらえ直し、「わかる」授業を構築するための教員の数学的リテラシーの育成を目指したゼミとする。そのため、算数科における子どもがもっている考えや思いなどを明らかにしながら、学習する際のつまずきや困難さに目を向け、教えるべき基礎的な概念の意味を子どもが深く理解できるようにするための教授介入はどうかあればよいについて文献をもとに調べ、発表し、討論することをとおして、課題解決能力を高めていく。</p> | | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 履修後は、子ども教育専門ゼミ II を受講することが望ましい。 | | | | | | | | | |
| 授業の進め方 と方法 | 文献調査から課題を見つけ、調査したことをもとにディスカッションを重ね、解決方法を検討する。 | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第1回】 | オリエンテーション 本ゼミの内容についての課題の共有 | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第2回】 | 問題意識と関心に基づいた文献の選択 文献選択の視点等について | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第3回】 | 報告と討論（1） 子どものつまずきと数学的概念の形成との関係について（1） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第4回】 | 報告と討論（2） 子どものつまずきと数学的概念の形成との関係について（2） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第5回】 | 報告と討論（3） 子どものつまずきと数学的概念の形成との関係について（3） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第6回】 | 報告と討論（4） 子どものつまずきと数学的概念の形成との関係について（4） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第7回】 | 報告と討論（5） 子どものつまずきと数学的概念の形成との関係について（5） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第8回】 | 中間まとめ 自己の気づきの振り返り | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第9回】 | 各自の問題関心の確認 自己の気づきの振り返りと変化の確認 | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第10回】 | 各自の問題関心に基づいた教材の作成（1） 数学的概念の形成につながる教材の作成のための準備（1） | | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|--|
| 授業計画 【第11回】 | 各自の問題関心に基づいた教材の作成（2） 数学的概念の形成につながる教材の作成のための準備（2） |
| 授業計画 【第12回】 | 各自の問題関心に基づいた教材の作成（3） 数学的概念の形成につながる教材の作成について（1） |
| 授業計画 【第13回】 | 各自の問題関心に基づいた教材の作成（4） 数学的概念の形成につながる教材の作成について（2） |
| 授業計画 【第14回】 | 今後の研究に向けて（1） 討論と省察（1） |
| 授業計画 【第15回】 | 今後の研究に向けて（2） 討論と省察（2） |
| 授業の到達目標 | 1 文献や資料を丁寧に調べ、レジュメとして整理し、報告し討論を重ねることにより、質の高い教材を作成するための、教員としての数学リテラシーを身に付ける。【数学リテラシー】 2 二年次までに身に付けた発表や討論の仕方を確かなものにしていく。【問題解決力】 |
| 学位授与の方針 (DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) |
| 授業時間外学習【予習】 | 問題意識と関心に基づいて調べ、資料をまとめて授業に臨む。 |
| 授業時間外学習【復習】 | 自己の学び・考え・リフレクションをレポートにまとめる。 |
| 課題に対する フィードバック | 討論や文献・情報収集への取り組み、ゼミの発表や教材の作成時に、形勢的評価を行いアドバイスをする。 |
| 評価方法・基準 | 討論や文献・情報収集への取り組み、ゼミの発表や教材の作成、その実践等で総合的に評価する。 |
| テキスト | 第1・2回でゼミ参加者全員で輪読文献を話し合いによって決定する。 |
| 参考書 | 必要に応じて、関連文献をその都度紹介する。 小学校学習指導要領（算数編） 小学校教科書（算数） 黒木哲徳著『なっとくする数学記号』 講談社『入門算数学』日本評論社 |
| 備考 | |